



F D 研修会 池の平で開催

テーマ「企業の求める人材像と人材育成」

平成23年度第1回金沢高専FD研修会が7月28日(木)、29日(金)池の平セミナーハウスで、教員33人、高専職員4人、工大職員2人、企業から6人が参加して行われた。

FD研修会は平成16年度からスタートし、今回で8回目となった。

今回の研修テーマは「企業の求める人材像と人材育成」であり、企業からは小島プレス工業(株)の常務取締役鈴木司氏以下5人のゲストを招いての研修会となった。

研修会は、高橋丈雄進路指導主事から金沢高専側の取り組みに関する概要説明が行われた後、鈴木常務、高専の卒業生である長井俊樹氏(昭和61年機械工学科卒業)及び北村修氏(昭和63年電気情報工学科卒業)から、それぞれ「当社の人づくりと求める人材像」「仕事内容と現場の中で求める人材像」と題しての基調講演が行われた。

会社概要及び基本理念が紹介された後に、今後の環境の変化と、その環境の変化に対応するために、どのような企業努力が行われてきたのかということが、極めて具体的な例で紹介された。続いて、このような環境の変化に対応するために技術者に求められるものは何か、それをどのようにして育成してきたのか、ということが大変分かり易く紹介された。また、企業が求める人材と応募者とのミス・マッチングによって、毎年多大な労力や経費が浪費されている実態を踏まえて、企業がどのような人材を欲しているのかということとを良く理解して進路指導に当たることの重要性が強調された。基調講演後、五つのグループに別れ、各グループに1人ずつゲストにも



グループ討議の結果をプレゼンテーションするグループの代表

参加して頂き、グループ討議を実施した。グループ討議では、企業が求めるものと高専教育とのギャップ、それを埋めるための改善策、講演内容の教育現場への反映、グローバル化への対応などについて、日頃とは異なる緊張感を伴って活発な討議が行われた。討議後、わずかな休憩の後に、直ちに討議結果のプレゼンテーションが行われ、全体を総括して鈴木常務から講評を頂いた。ゲストは休日を返上して参加して頂いており、わずかな休憩と名刺交換の後、夕食も摂らずに車上の人となる強行軍であった。

翌日は、工大側から企画部CS室の丹羽和征氏及び下津竜之氏ら2人も参加した。また、アイポイントの池田代表からアンケート結果の注目すべき点や、これまでに質問のあった点などについて、その概要と分析結果が報告された。

スギノマシンの玄関前で
記念写真に納まる参加者





グループ討議をする参加者

昼食後、セミナーハウスを後にし、集中豪雨をすり抜けて企業研修先である富山県滑川市の(株)スギノマシン早月事業所に向かった。スギノマシンは、そのユニークな製品や人材育成で高い評価を得ている企業であり、教職員の関心も高く、当初の概要説明では、予定の時間を大幅に超えて次々と質問が出されたが、応対された村井総務部長が自身の経験も踏まえて、的確かつ造詣の深い回答をされた。その後に行われた工場見学も、大変印象深いもので、極めて有意義な企業研修であった。